

湖西市と MONET Technologies(株)との自動運転社会に向けた 次世代モビリティサービスに係る業務連携協定書

業務連携協定締結式 次第

日時 令和2年1月23日(木) 15時00分から

場所 湖西市健康福祉センター(おぼと) 3F 小会議室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 業務連携協定書 署名
- 4 挨拶
- 5 写真撮影
- 6 閉式

出席者

【MONET Technologies 株式会社】

代表取締役副社長兼 COO 柴尾 嘉秀(しばお よしひで)【署名者】
事業推進部担当部長 小澤 拓郎(おざわ たくろう)

【湖西市】

湖西市長 影山 剛士(かげやま たけし)【署名者】
湖西市副市長 田中 伸弘(たなか のぶひろ)
湖西市役所産業部長 長田 尚史(おさだ なおふみ)

情報提供資料（令和2年1月23日 湖西市定例記者会見）

タイトル MONET Technologies 株式会社との業務連携協定の締結について	所属名 産業振興課 連絡先 外線TEL 576-4560 内線TEL 476 担当者 北見、馬淵、伊藤																		
<p>1 経緯について</p> <p>市は、今後の社会情勢の変化に対応する新たな公共交通施策について MONET Technologies(株)と検討を進め、8月には自動運転車両の普及に向けた次世代運行サービスの施策の検討、市内の移動における回遊性の向上ならびに移動に係る諸問題の解決と利便性の充実の検討にあたり、基本的条件を本件当事者間で確認することを目的に覚書を締結し、さらに検討を進めてきました。</p> <p>この度、市は MONET Technologies(株)と業務連携協定を締結し、次世代型モビリティサービスの社会実装に向けた実証実験等を同社と取り組むこととします。</p> <p>2 業務連携について</p> <table border="0"><tr><td>締結日</td><td>令和2年1月23日 ※全国で12か所。静岡県内初。</td></tr><tr><td>目的</td><td>緊密に連携、協力し、自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスに関する先進的な技術開発や実証実験を通じて、誰もが安全で快適に移動できるまちづくりを推進します。</td></tr><tr><td>連携事項</td><td>① 次世代モビリティサービスの実装に向けた実証実験の実施 ② 地域企業と市民に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ③ 地域経済活性化に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ④ その他、前条の目的を達成するために必要と認める事項</td></tr></table> <p>※なお、費用負担については別途協議の上定めるとし、本協定の締結が契約の締結やその他の義務を課すものではありません。</p> <p>3 具体的な取組について</p> <p>市では、市内の各企業が運行する企業シャトルバスに着目し、公共交通の利用可能な資源となる可能性を探りつつ、自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスの提供により、企業の抱える交通課題や公共交通課題の解決を図る施策を検討します。市は、市内企業に呼びかけ趣旨に賛同してもらえる企業と MONET Technologies(株)による組織「湖西市企業シャトル BaaS 研究会」を発足し、次世代型モビリティサービスの社会実装に向けた取組と研究を進めます。</p> <p>※BaaS は、Bus と MaaS を合わせた事務局による造語。</p> <p>4 今後のスケジュールについて（研究会での内容）</p> <table border="0"><tr><td>令和2年1月</td><td>第1回</td><td>自動運転社会に向けた先進事例の取組</td></tr><tr><td>2月</td><td>第2回</td><td>乗合混乗の安全確保に向けた仕組みづくりについて</td></tr><tr><td>3月</td><td>第3回</td><td>社会実装に向けた調査研究手法について</td></tr><tr><td>令和2年4月以降</td><td></td><td>コーちゃんバスと企業シャトルバスの連携により地域住民にも利用頂けるよう社会実装に向けた実証実験等や調査を行う。</td></tr></table>		締結日	令和2年1月23日 ※全国で12か所。静岡県内初。	目的	緊密に連携、協力し、自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスに関する先進的な技術開発や実証実験を通じて、誰もが安全で快適に移動できるまちづくりを推進します。	連携事項	① 次世代モビリティサービスの実装に向けた実証実験の実施 ② 地域企業と市民に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ③ 地域経済活性化に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ④ その他、前条の目的を達成するために必要と認める事項	令和2年1月	第1回	自動運転社会に向けた先進事例の取組	2月	第2回	乗合混乗の安全確保に向けた仕組みづくりについて	3月	第3回	社会実装に向けた調査研究手法について	令和2年4月以降		コーちゃんバスと企業シャトルバスの連携により地域住民にも利用頂けるよう社会実装に向けた実証実験等や調査を行う。
締結日	令和2年1月23日 ※全国で12か所。静岡県内初。																		
目的	緊密に連携、協力し、自動運転社会に向けた次世代モビリティサービスに関する先進的な技術開発や実証実験を通じて、誰もが安全で快適に移動できるまちづくりを推進します。																		
連携事項	① 次世代モビリティサービスの実装に向けた実証実験の実施 ② 地域企業と市民に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ③ 地域経済活性化に貢献する次世代モビリティサービスの検討 ④ その他、前条の目的を達成するために必要と認める事項																		
令和2年1月	第1回	自動運転社会に向けた先進事例の取組																	
2月	第2回	乗合混乗の安全確保に向けた仕組みづくりについて																	
3月	第3回	社会実装に向けた調査研究手法について																	
令和2年4月以降		コーちゃんバスと企業シャトルバスの連携により地域住民にも利用頂けるよう社会実装に向けた実証実験等や調査を行う。																	